

令和7年1月29日

総務局

令和6年度 東京都 沖ノ鳥島・南鳥島シンポジウムを開催します

日本最南端・最東端の国境離島である小笠原諸島の沖ノ鳥島・南鳥島について、より多くの方に理解を深めていただけるよう、シンポジウムを開催しますのでお知らせします。

1 日時 令和7年3月1日(土曜日)午後1時から午後4時15分まで ※ 12時30分開場

2 会場 新宿パークタワー パークタワーホール

(住所：東京都新宿区西新宿3-7-1 3階)

※ 交通アクセスは、新宿パークタワーのHPをご覧ください。

<https://www.shinjukuparktower.com/access/>



3 実施内容（予定）

プログラム	概要
基調講演	「海洋生物の分布データを集める」 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 地球環境部門 海洋生物環境影響研究センター センター長 藤倉 克則
令和6年度 沖ノ鳥島・南 鳥島に関する 研究調査の紹 介	① 「沖ノ鳥島周辺海域の海底地形及び生物相把握のための研究調査」 いであ株式会社 常務執行役員 木川 栄一 ② 「沖ノ鳥島周辺海域の地球物理観測データ統合」 東京海洋大学 学術研究院 海洋資源エネルギー学部門 助教 古山 精史朗 ③ 「沖ノ鳥島・南鳥島周辺海域における好適漁場推定モデルを活用した 漁場管理情報の創出」 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 付加価値情報創生部門 地球情報科学技術センター データ統融合解析研究グループ グループリーダー 五十嵐 弘道 ④ 「沖ノ鳥島・南鳥島の地生態工学的維持のための研究調査」 東京大学 大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻 教授 茅根 創
パネルディス カッション	「沖ノ鳥島・南鳥島の重要性 -研究調査が拓く両島の姿」 モデレーター：国立研究開発法人 海洋研究開発機構 藤倉 克則 パネリスト：いであ株式会社 常務執行役員 木川 栄一 東京海洋大学 学術研究院 助教 古山 精史朗 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 五十嵐 弘道 東京大学 大学院理学系研究科 教授 茅根 創
その他	沖ノ鳥島・南鳥島の写真、パネルの展示 ほか

本件は「『未来の東京』戦略」を
推進する事業です。
戦略17 多摩・島しょ振興戦略
「多摩・島しょの魅力創出」

<問合せ先>

総務局行政部振興企画課小笠原・国境離島担当
電話：03-5388-2978（直通）

4 参加費 無料

5 定 員 250人（事前申込制）

※ 申込多数の場合は抽選となります。

6 申込方法 インターネットの申し込みフォームまたはFAXでお申し込みください。
FAXの場合は、以下の「東京都 沖ノ鳥島・南鳥島シンポジウム特設サイト」から参加申込書を印刷してください。

7 申込先 インターネット：東京都 沖ノ鳥島・南鳥島シンポジウム特設サイト

<https://e.try-sky.com/okiminami/>

FAX：03-3824-7250



8 締 切 令和7年2月25日（火曜日）

9 問合せ先 (株)トライ 東京都 沖ノ鳥島・南鳥島シンポジウム事務局

（午前9時から午後5時まで。土曜日、日曜日及び祝日を除く。）

電話番号：03-3824-7239

メールアドレス：okiminami (at) e.try-sky.com

※ (at) を@に置き換えて、メールをお送りください。

10 アーカイブ映像の配信

シンポジウム開催後、当日の様子を記録したアーカイブ映像を配信します。

（1）期 間 令和7年3月14日（金曜日）午後3時から同月21日（金曜日）午後5時まで

（2）視聴方法 「東京都 沖ノ鳥島・南鳥島シンポジウム特設サイト」からどなたでも無料で御覧いただけます（通信料は各自御負担となります）。